

# ミニ災害支援講座

## 広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）ってなに？

大地震などの災害時に、重症患者の症状の安定化を図り、搬送を実施するための臨時医療施設として、被災地域及び被災地域外の航空搬送拠点に、広域医療搬送や地域医療搬送に際して設置されます。被災地内の医療機関への負担集中を軽減し、被災地外の医療機関へ搬送し高度な専門治療を行うことにより、救命率の向上を図ります。日本では東日本大震災の発災時に SCU が活用されており、今後発災する見込みの首都直下地震や、南海トラフ地震でも迅速な医療提供のために活用が期待されます。

## 広域搬送のイメージ

- ＜1＞地震発生後速やかに被災地外の拠点に参集した災害派遣医療チーム（DMAT）が、航空機等により被災地内の広域搬送拠点へ移動
- ＜2＞被災地内の広域搬送拠点に到着した DMAT の一部は、被災地内の災害拠点病院等で広域医療搬送対象患者を選出（トリアージ）し、被災地内広域搬送拠点まで搬送
- ＜3＞広域搬送拠点の臨時医療施設（SCU）にて、搬送した患者の広域搬送の順位を決定するための再トリアージ及び必要な追加医療処置を実施
- ＜4＞搬送順位にしたがって、被災地外の広域搬送拠点へ航空搬送し、広域搬送拠点から救急車等により被災地外の医療施設へ搬送して治療を行う。

全国的に自衛隊の駐屯地や空港を SCU として認定していますが、群馬県では日本で初めて病院として『前橋赤十字病院』が認定されています。

図 2-2-1 広域医療搬送概要図

